

市長のタウンミーティング 松倉地区

(敬称略)

	<p>開催日時 平成29年10月21日(土) 19:00～21:00 会場 金山谷郷土文化保存伝習館 参加人数 51名</p> <p style="text-align: right;">開会挨拶 松倉自治振興会長 富川茂樹 書記 伊串祐紀</p>
---	---

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	松倉	まちづくり	松倉城郭群の観光整備の支援をいただきたいと思っている。情報を知ってもらうために地域のマップ作りなども試みたいので支援をいただきたい。
2	松倉	教育環境	統合小学校の通学について、角川と富川の2河川に縦割り方向の集落に分けられ、通学距離も長い。2系統のそれぞれのスクールバスを最上流集落までにしてほしいと要望している。しかしながら、児童が1名程度の場合は最上流集落までとしないという意見も聞いているが地区の要望のとおり決定してほしい。
3	松倉	まちづくり	松倉小学校の子ども獅子舞について、郷土の伝統芸能の振興と後継ぎの育成を目的とし、小学校の理解で総合的学習の時間を活用し、獅子舞保存会の協力で長年存続してきた。小学校統合後も続けたいと松倉地区民が強く願っている。
4	松倉	まちづくり	統合後の松倉小学校の利活用について、松倉地区では松倉城案内所を設けたい、また松倉城の関係資料の展示館として活用したい。
5	松倉	まちづくり	鳥獣害の対策について、保育園の上流の農地に日中でも親子のイノシシが確認されている。魚津市民の安全のために従来の捕殺よりも強力な対策行うべきだと思うが市長の意見を聞かせてほしい。
6	松倉	子育て	松倉保育園の存続や、学童保育室の場所や運営方法は、仕事をしながら子育てをしている毎日に大きく影響します。市のあたたかい支援とサポート、そして柔軟な対応を心からお願いいたします。
7	松倉	まちづくり	人口減対策として、どこかの県で実施されたと聞いたことがありますが、市で一番山奥に住宅を建てて、20年以上住んだらタダで提供できるようなことはどうなのかなと思う。ご意見を聴かせてほしい。
8	松倉	まちづくり	防犯カメラについて、観音ゴルフ場の交差点に設けてほしい。観音ゴルフの屋根付き駐車場がたまり場になる可能性がある。過去に自販機荒らしがあって県警からカメラを設置させてくれと言われて一か月ほど設置した。設置をお願いしたい。

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	松倉地区	日時	10月21日(土) 19時00分より 21時20分まで		参加者数	51名
会場名	金山谷郷土文化保存伝習館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	企画政策課 伊串祐紀	
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか		地区からの 主な参加者	地域振興会長、公民館、各種団体の長ほか		

1. あいさつ

自治振興会長 富川茂樹

2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

- 衆議院選挙の投票率について（投票啓発）
- うおづのうまい水モンドセレクション最高金賞受賞について
 - ・水道水について
- 人口について
 - ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
 - ・魚津市の現状・将来予想
- 松倉地区電気柵設置状況について
- 子育て支援について
 - ・安心して産み育てる環境の整備
 - ・仕事と家庭の両立等
 - ・経済的負担の軽減
- 教育環境について
 - ・小学校英語教育の推進
 - ・教育用ICT環境整備
 - ・通学の安全、安心対策
 - ・ふるさと教育
- まちづくりについて
 - ・定住、空家対策
- 災害に強いまちづくりについて
 - ・ハード対策
 - ・情報伝達体制の強化
 - ・防災力の向上
- 健康寿命の延伸について
 - ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○松倉城址の観光整備等について（まちづくり）

中山間に位置する松倉も悩んでいる。15年ほど前にとみ里団地ができなんとか330戸1,000名を維持している。とみ里団地がなければ800人くらいに減っていたかもしれない。そういった中で松倉地域は魅力ある地域づくりを頑張っているがなかなかすぐにはできない。平成27年には地域の魅力発見ということで松倉城郭群ガイド養成講座を市の補助を受けながら行った。平成28年には升方城でもガイド養成を行った。ほかの地区だが松倉城は升方城と一体の城郭であるのでみんなで取り組んだ。今年は植樹祭の関係でよっしゃこい蝶六と同時開催して、地域の方も一生懸命頑張られた。交流を図り、新たな賑わいを出そうと頑張っているがなかなか思うように進まない。8月にはインターンシップに取り組み、東京・大阪から学生に来てもらいアイデアを出してもらった。その結果を受けて、これからどう取り組むか考えているが、みなさんと一緒に頑張る魅力ある地域づくりをし、市長の資料にあった人口減少を克服するため、社会増対策をして魅力ある町づくりをしたい。地域の方が住んでいてよかった、ずっと住みたくないようにしないと子供が出て行ってしまう。地域の6年生には地域の名所まわりということで金山とか城を半日かけて案内しているが、なかなかうまくいかない。学生を連れて松倉城跡に行ったら能登半島が見えてすごい、富山湾が見える、後ろには北アルプスや剣岳が見える非常にいいところだが看板もないと言っていた。最近では新幹線も走っているし、見えるので城郭群の整備の支援をいただきたいと思っている。情報を知ってもらうために地域のマップ作りなども試みたいので支援をいただきたい。まちづくり交付金事業でやれとかせこいことを言わず、思い切って配慮いただきたいと思っている。松倉からも市の職員が大勢勤めており、いろんな機会にバックアップしていただいているが、ぜひ今後ともその体制を強めていただきたい。とにかく地域の方が頑張る、一緒に考えんまいけという組織づくりをがんばるのでぜひご支援よろしくをお願いします。

ちなみに、日本山城100名城の最新版に眺望の良い城ということで松倉城がベスト10に入っている。

（村椿市長）

松倉城の調査には、国の調査官も入って行っています。感触を聞くと、国の指定になるには十分な価値があるという状況です。問題は、国の指定になるには土地の権利関係をはっきりさせなくてはならないということです。地権者が何百人単位と聞いているので、そこが一番のハードルだと思います。もしスムーズにいくようなら、指定に合わせてダイナミックな展開ができる可能性があります。日本では雲の上に少し見えているだけで天空の城といわれ何十万人も訪れます。松倉地域にとっては、城はすごく大きな要素だと思うのでそこにしっかりと焦点をあてて、核になるものをしっかり作ってから展開していくべきだと考えています。みなさんと力を合わせて、高いハードルである権利関係の突破を頑張りたいと思います。突破できればすごく可能性があります。

○小学校統合・跡地の利活用、鳥獣被害対策について（教育環境・まちづくり）

松倉小学校の統合の件について。松倉・上中島・住吉の統合小学校は平成31年4月の開校に向けて8月に木造3階建ての新校舎の建設が始まった。統合準備委員会も作業部会も開校に向けて調整している。3校の統合に関しては自治振興会・区長会から市当局に要望してきたが、確認させていただきたい。

まず、角川と富川の2河川に縦割り方向の集落に分けられ、通学距離も長い。2系統のそれぞれのスクールバスを最上流集落まで安全な公共にしてほしいと要望している。しかしながら、児童が1名程度の場合は最上流までとしないという意見も聞いているが地区の要望のとおり決定してほしい。

次に松倉小学校の子ども獅子舞ですが、郷土の伝統芸能の振興と後継ぎの育成を目的とし、小学校の理解で総合的学習の時間を活用し、獅子舞保存会の協力で長年存続してきた。今後も続けたいと松倉地区民が強く願っている。市長の格別な判断をいただきたい。

次に学校閉校後の校舎等の活用についてですが、本年3月に校舎・グラウンド等の利活用検討委員会が立ち上げられ、今まで5回の委員会が開催された。今回は校舎・体育館・グラウンドの公民館および附属施設の松倉郷土資料館並びに小学校の記念室とし、すべての建物を存続させ、有効に活用していく意向を集約していく。新年早々には利用計画及びそれに伴う改築及び改修等の要望を提出することとしている。

最後に鳥獣害の対策について、国・県・市の対応に理解しているが、最近イノシシやサルの数が予測を超えた速度で増加している。保育園の上流の農地に日中でも親子のイノシシが確認されている。このまま増え続ければ人身事故の発生も避けられないものと予測されるので、市当局の意見を聞きたい。魚津市民の安全のために従来の捕殺よりも強力な対策行うべきだと思うが市長の意見を聞かせてほしい。

詳細調査指導委員に、国と県の方も参加している。統合後の松倉小学校の利活用について、松倉地区では松倉城案内所を設けたい、また松倉城の関係資料の展示館として活用したいと話したところ国・県の委員は素晴らしい考え方だといった。県は博物館の建設に関する補助金(200万)があるので松倉が手を挙げれば即採択するという意見もあったので、跡の活用の参考にしてほしい。

(村椿市長)

スクールバスの関係については、鹿熊と坪野を出発点とする2ルートで準備をしようと思っています。途中をどうするかは決まっていないので保護者と相談しながら、子どもの安全を念頭に置きながら決めていく必要があると思っています。

獅子舞の話についてはもっともだと思いますが、統合した時には、3つの小学校の子どもが集まり、先生はすべての地区の子どもを合わせたクラスで総合学習を展開するので、教育委員会の意見を聞いていると、その中から松倉の子だけを取り出して獅子舞を教えるのは難しいとのこと。どういう風なやり方をすれば地域の伝統文化を教えられるかの仕組みを考えないといけないので、この点については統合までに考えていきたいと思っています。

松倉小学校の跡利用について、国や県の調査官からそのような話があったのは頼もしく心強いことなのでぜひ行っていければいいと思いますが、まず、国の指定史跡になることが大前提だと思います。そうでなければダイナミックさに欠けるし、全国に発信していくときにもインパクトがありません。それを進めながら学校の利用を考えなければならないと思います。補助金など使えるものなら何でも使いますが、問題はきれいな展示室を作って飾ることが大事なのではなく、人に集まってもらえる場所にしなければならない。そこが大事だと考えます。きれいになっても人が来ないのでは悲しいので、人が寄る仕組みと一緒に考えていければならないと思います。地域の文化の魅力を活かして人が集まってくるような場所にしなければならない。単に城の遺物を飾っただけでは人は来ません。人を引き付ける話や人が必要です。それは市の学芸員や職員と一緒に考えていくので、頑張っていきたいと思います。

有害鳥獣については、猟銃やわなによる駆除以外の方法も行えばいいのではということではありますが、法律で規制あります。薬で殺すことなどは法律上無理です。いまの駆除の仕組みのなかで捕殺をしていくしかありません。捕殺できる人を増やすか罠を増やすか。猟友会や他の自治体の話も聞いています。現在、実際に鉄砲をもって駆除に当たれる人は限られています。どのように増やすかが課題となります。鉄砲を使う人を増やせばという単純な話ではありません。全国的には民間の会社に捕殺を委託している場所もありますが魚津では難しい。今、資格を持っている人をどう捕殺に関わりやすくするかを考えるしかありません。市の職員はハンター専門ではなく福祉や消防の仕事をしているのですぐに行ける場合もあればそうでない場合もあります。実際に関われる人をどう増やすかを考えるしかない。と同時に電気柵などに関わる予算は確保するので地元の意向を固めていただいたらしっかりやっていきたいと思えます。

○松倉保育園、学童保育等について（子育て）

松倉保育園のことですが、平成25年に市から休園の検討に入りたいとお話があり、地区、保護者会から存続のお願いをしたところ、「休園に関しては今回の話は取り下げます、但し、後の園児数の動向によっては休園の検討をすることもある」とのことでした。

また、松倉小学校ですが平成31年に統合されます。市からの統合準備委員会への説明では、統合小学校敷地内に学童保育室を新設する。定数72名なので1年生から3年生までの希望者を優先的に受け入れ、4年生以上は、定数から3年生までの学童保育利用者数を差し引いた人数を受け入れる、とのことでした。

4年生以上の一部の児童は新設される学童保育では受け入れられず、兄弟姉妹がバラバラの所で保育を受ける、あるいは保育を受けること自体を諦める可能性もある、ということになります。

さらには、統合小学校に併設される学童保育室は2期工事のため開校には間に合わず、統合初年度の学童保育は元の小学校の学童保育場所で行うとのことでした。先ほどの市長の話では、現存の学童を残す方針でしたが、こども課から伝わっている情報はそこまではっきりとしたものではありません。正確な情報の伝達をお願いします。松倉保育園の存続や、学童保育室の場所や運営方法は、仕事をしながら子育てをしている毎日に大きく影響します。わたくしごとですが、主人も私も県外出身であり、学童と保育園の充実なしにはこれからの生活は考えられません。子育て世代の親は、職場への通勤、スーパーマーケット等の買物施設、保育園や学校への距離や利便性など様々なことを考えながら家族の住むところを決め、家族とのふれあいの時間を生み出しています。私は子育てには、時間と心のゆとり、子どもを安心してお任せできる保育施設、良き指導と充実した設備のある学校、そして子どもたちを暖かく見守ってくれる地域社会などが大切だと思います。私は5年ほど前に松倉地区の子育て環境に魅力を感じてこの地に住みたいと思いました。大切な子ども達を育てるために私たちは日々全力で頑張っております。時代の流れとともに必要な変化もあると思います。その中で、市のあたたかい支援とサポート、そして柔軟な対応を心からお願いいたします。

（村椿市長）

保育園をどうしていくかは切実な問題です。特に仕事を持っている場合、子どものケアと仕事をどうやって両立するかということなので重要と思っています。一方でどれだけの小規模になっても残すのかは現実問題として考えなければなりません。子供の保育の環境で、周りにどのくらい子供がいるのかは考えていかなければなりません。今すぐ松倉保育

園が将来どうなるのかは言えませんが、大事なはこの地域に子供を増やす取組を、市役所と地域が一緒になって環境を作らないといけません。人を呼び込んで増やしていくことが大前提です。しかしながら、実際に子供が減っていったら、いまの学童をどうするかということですが、統合しても学童保育は現在の地域にという要望が当時は強かったのですが、実際に統合が始まって子供の動きや保護者の反応を聞くと、学校が終わって学校の近くに子供たちがいる、できるだけ安全にそこにいてもらって帰りはスクールバスに乗って地域に帰るほうがいいのではという声が強まっています。子供の教育や遊ぶ環境が、まず安全が第一と考えています。それと、働く親御さんがどこまでだったら負担できるのかを考えることが大事だと思っています。単にもとの場所がいいというだけでなく、毎日生活していくうえで、どういうやり方が一番いいのかということを中心に仕組みを考えていかなければいけないと思っています。その結果、統合校と地元の併用等があるかもしれません。みなさんの利用を考えて、真剣に取り組んでいきたいと思っています。

○片貝地区の定住移住のモデル事業について（まちづくり）

市長の説明の中で、片貝地区の定住移住のモデル事業の説明があったが、具体的な話を聞きたい。子供の保育園の話もあったが、一つの方法として、どこかの県で実施されていると聞いた、市で一番山奥に住宅を建てて20年以上住んだらタダで提供できるようなことはどうなのかなと思う。市長のご意見を聴かせてほしい。

（村椿市長）

答えはいっぱいあります。今おっしゃられたようにやっている所もあります。片貝地区では、まず空き家の調査をしています。移住者やたまに来て試しに住んでみようという人に提供できる空き家の候補を挙げています。その空き家を使ってもらうときにどのくらい整備して直さなければならぬかを調べるようにしています。それによって改修とか整備にお金がかかるなら県や市から補助金を出すという形を想定してやっています。計画作成は今年度中に終わります。来年は東京の移住センターの窓口に来る全国からの移住希望者の面接を行います。片貝で用意した場所に来てもらえるか交流して決めます。マッチすれば移り住んでくるかもしれません。やり方はいろいろあると思います。一番大事なの見知らぬ人でも他から来たら迎えてあげるという空気、環境づくりです。立派な建物とか施設が重要なものではありません。その地域が迎え入れる気持ちになれるかが重要です。そうしないとせっかく来て、こういう場所は嫌だと帰ってしまうかもしれません。片貝にも施設ではなく気持ちが大事と言っています。それを1件2件と続けることで保育園の子どもが増えていきます。魚津市でそういう取り組みをしていきたい。最初150人の差といったが、その差を減らしていかないと、魚津の人口は減り続ける。こういうことを皆さんとやっていきたいと考えています。

○防犯カメラの設置について（まちづくり）

先日文化ホールであった防犯フォーラムに参加し、パネラーも言っていたように防犯カメラが必要になってくる。松倉も統合したら必要になってくると思う。松倉小学校には児童玄関に1か所だけあるが、個人情報の関係かどこを映しているかわからない。ゴルフ場の交差点に設けてほしい。観音ゴルフの屋根付き駐車場がたまり場になる可能性がある。自販機荒らしがあつて県警からカメラを設置させてくれと言われて一か月ほど設置した。あつたほうがいいのでおねがいします。

(市長)

警察の人も言っていましたが、これまでは駅や繁華街中心に犯罪が派生していましたが、いまはできるだけ人目に付かない場所を狙うようになってきました。これから人口が減ると、より人の目が行き届かなくなります。そういった場所に、犯罪の発生防止や犯罪が起きた時の証拠のために防犯カメラを活用しようという話でした。防犯カメラ設置には、市全体を考えた時にどういったところに設置したら効率的であるか、プライバシーの問題は大丈夫かなど、いくつも課題があります。まずはルール作りをしていこうということでした。東京の杉並区は区の条例で設置の基準と、記録された映像の使い方を決めています。魚津市では、条例とガイドラインのどちらが良いかなど含め、まず、防犯カメラについてのルール作りの取組を行っていきたいとフォーラムで話しました。これは富山県では初めてなので注目されています。今後は犯罪が起きやすい場所に防犯カメラを設置していくことを考えていきたいと思っています。